

## 2013 年度 事業および運営に関する計画

### [2013 年度の主な方針]

人々をとりまく社会経済状況や地域のくらしの状況は  
目まぐるしい変化を遂げています。

引き続き、多様な人・組織との対話の場づくりを通じ、  
さまざまな動向への検証を図るとともに、  
ビジョンや課題の共有、しくみづくりに努めます。

また、NPOの組織基盤強化にむけた取り組みを進め  
真に共感と信頼を集められるセクターとして成長する  
方向づけを行います。

### ～ 事業面 ～

当センターは 2002 年の設立以来、活動の 2 つの柱として、“コンサルティング”と  
“プロモティング”を掲げ、これらを両輪として、各種事業に取り組んできた。  
2011 年度からはミッションを刷新し、以下の通り、**新たな 4 つの柱** <ひろげ  
あう> <そだちあう> <ふかめあう> <つなぎあう>それぞれのアプ  
ローチを掲げている。引き続き、この指針に即して事業を展開する。

わたしたちが、  
草の根の NPO センターとして、  
取り組むべきと考えていることは…



この4つの柱にもとづいた各種事業の体系は、次の通り。

1、ひろげあう
情報活動
提言
キャンペーン
～ 定款の事業種別 ～
「エヌピーオーの社会啓発に関する事業」(B)
「エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業」(D)
「エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業」(E)
<b>【定款変更案】</b>
社会貢献分野にまつわる民間非営利組織(NPO等)・企業・行政等多様な主体に関する情報の環境整備に関する「ひろげあう」事業
NPOの活動に役立つ情報活動
(セミナー・イベント・助成金情報やお役立ち情報の提供)
NPOの活動基盤整備に向けた全国的なネットワークへの参画
(NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会、社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク 等)
行政の委員会・審議会等への参画
(市民活動支援、協働推進、自治基本条例、NPO支援や協働に係る事業選定 等)
企業の多様なステークホルダーとのコミュニケーションの場づくりの支援
(ステークホルダーダイアログ等)
企業のNPO支援や協働に関するプログラム支援
(プラン策定等の企画立案過程、助成プログラムの開発、審査 等)

2、そだちあう
個別相談
リーダー学習
専門研修、連携・協働の勉強会活動
～ 定款の事業種別 ～
「エヌピーオーの活動及び運営全般に係る相談・助言に関する事業」(A)
「エヌピーオーの社会啓発に関する事業」(B)
「エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業」(D)
<b>【定款変更案】</b>
地域の課題解決をこころざすさまざまな組織の人財の育成・強化に関する「そだちあう」事業
人や組織への個別的なアプローチ (個人、NPO、企業、行政等)
(ボランティア参加促進、NPO設立や組織強化・企業や行政のNPO支援や協働・CSR・SR等に係る個別相談)
人財育成の取り組み～NPO関係者向け
(企画力、広報力、プレゼン力、資金調達をはじめとするファンドレイズ、リーダー論、組織づくり、SR、IT力 等)
人財育成の取り組み～行政職員向け
(協働、NPO概論、政策形成力、ファシリテーション、プレゼン力、SR 等)
人財育成の取り組み～企業の従業員向け
(CSR、協働、ファシリテーション、プレゼン力、SR 等)
人財育成の取り組み ～その他の組織(社会福祉協議会・福祉施設・教育機関等)
(企画力、人財の適材適所のコーディネート、広報力、ファシリテーション、プレゼン力、情報開示、IT力、SR 等)
人財育成の取り組み ～マルチステークホルダー向け
(定例的な自主勉強会、トークショー 等)

3、ふかめあう
調査研究 セクター別/間のよりよい協働の環境づくりのための研究・検証活動
～ 定款の事業種別 ～ 「エヌピーオーの基盤整備に向けた調査研究事業」(C) 「エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業」(E)
<b>【定款変更案】</b> 民間非営利組織(NPO等)・企業・行政等が担う社会貢献分野にかかる調査研究および提言に関する「ふかめあう」事業
社会・地域の新たな課題へのチャレンジ (NPOにまつわる諸課題の研究)
社会・地域の新たな課題へのチャレンジ (NPOにまつわる諸課題の研究)
社会・地域の課題解決に向けた各種プログラムの検証、刷新 (セクター別ないしセクター間のよりよい協働の環境づくりのための各種制度や各種事業の開発・実施・検証活動、その他社会貢献分野に係る諸課題の研究・検証活動)

4、つなぎあう
資源仲介 対話 交流
～ 定款の事業種別 ～ 「エヌピーオーの社会啓発に関する事業」(B) 「エヌピーオーの情報環境の向上に関する事業」(D) 「エヌピーオーの基盤整備に向けた企画提案事業」(E)
<b>【定款変更案】</b> 地域の課題解決をこころざすさまざまな組織やキーパーソンの連携・協働のコーディネーションに関する「つなぎあう」事業
ゆるやかな対話・交流の場づくり (多様なセクターの関係者間でコミュニケーションを持つ場づくり 等)
ゆるやかな対話・交流の場づくり (多様なセクターの関係者間でコミュニケーションを持つ場づくり 等)
社会・地域の課題解決に向けたよりよい連携・協働のための各種サポート (人材・組織の橋渡し 等)
NPOのミッション達成の一助となるような資源の仲介 (人材・資金・物品・空間・情報 等の各種資源)
災害等緊急時の資源仲介(人材・資金・物品・空間・情報 等の各種資源)

災害等緊急時の各種活動
<b>【定款変更案】</b> 災害時をはじめ、地域の課題解決に必要とされる諸資源の仲介に関する事業
(情報活動、募金のPR支援、NPO等による災害関連イベントの側面支援 等)

～ 運 営 面 ～

① 理事会

引き続き、理事会開催や日常的なミーリングリストでのやりとり等を通じて、組織の日々の状況や変化について、役員間の効果的・効率的な情報共有や意見交換を進める。

また、今年度より新たに1名のスタッフが入職したため、人財強化において理事の参画度を高め、キャパシティビルディングにも努めたい。

② 事務局

引き続き、日々、情報や課題の共有化を図りながら、オンライン・オフラインでの情報共有の仕組みや進め方を更に整えたい。また、上記の通り、人財強化にもチャレンジする。

また、例年持ちこしの懸案である、資料や書籍等の事務所内の情報管理についても、中には重要な資料もあるため、日常的に整理のあり方を意識しながら進めたい。

また、市民活動へのいざないとして重視している当センターでのボランティア活動プログラムについても、こころざしや思いを組織に寄せて下さるボランティアは、草の根活動の源泉であるとの認識から、引き続き、極力、受け入れのあり方やルールを改善・工夫し、ボランティアが参画しやすいような環境整備と業務分掌に努めたい。

③ 評議員会

2011年度の創設以来、初めての改選期となる。多様なセクターのキーパーソンより貴重なご意見をいただける機会であり、今年度も2回程度開催したい。

④ 財政面

前年度は依存財源（特に受託事業）の比率を、圧縮することができたが、以前として依存度が高いことは否めない。そこで、組織の根幹を支える自主財源、とりわけ会費や寄付金といった、様々な人や組織の共感や信頼に裏打ちされた財源の比率を高め、財源の多元化を図り、資金面での自立度を高めていくことが課題である。

そこで、当センターとしては、外部の人や組織に息長く関わっていただけるしくみとしての会員制度を重視する方針に立って、入会促進に努める。

## [ 事業計画案の詳細 ]

※ 「★」は 2013 年度に新規に取り組む予定のもの、それ以外は継続事業

※ 事業名の末尾に「(受託)」と記していないものは、自主事業ないし共催事業。

### 1、ひろげあう

#### #当センターの問題意識

市民・行政・企業の各セクターにおいて、NPOに関心や期待を有している人たちの数は確実に増えており、その内容も多岐にわたっている。しかしながら、中には不信の目でNPOを捉える人も少なくなく、ガバナンス、とりわけ情報開示による透明性の向上が急務である。現在、これにまつわるNPO側の動きは、専ら東京が中心であり、地元では情報共有度や関心度の差もみられ、更なる情報発信と巻き込みが肝要である。そこで当センターとしては、引き続き、“NPOの社会的な信頼を勝ち得るための取り組み”ないし“NPOの社会的な信頼が高まる仕組みづくりのための取り組み”という切り口で、以下の活動に取り組みたい。

#### ■ NPOに関連する制度面での活動

NPO法人会計基準など、全国的なネットワークへの継続参画を通じた、NPOに関連する制度面についての運動・キャンペーン・学習会等を行う。

#### ■ NPOの社会的信頼向上のための取り組み

「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」への参画を通じた、SR（組織の社会的責任）についての学習会（過去例：「組織のためのSRセミナー」）の開催や、“社会的責任に関する円卓会議”への参画等を行う。

#### ■ 出展活動

外部組織によるNPOに関する展示機会がある場合、パネル等によるPRを行う。

### 2、そだちあう

#### #当センターの問題意識

市民・行政・企業の各セクターにおいて、NPOに関心や期待を有している人たちの数は確実に増えており、その内容も多岐にわたっている。しかしながら、基本的理解の素地を持たないままに、NPO設立に着手したり、協働を模索する動きがみられ、それが故に、事後で壁に当たる現象も見られる。NPOへの関心が量的および質的に増している折だからこそ、多様な属性の関係者を対象に、NPOの基本的理解をすすめ、かつ、活動の担い手の力量形成 および 組織としての基盤強化を図ることはますます重要となっている。

#### ■ 「NPOヨモヤマ相談」

予約制の有料相談。（1回 2000円、会員は無料）

NPOの設立・運営に係る相談の他、企業、行政の社会貢献活動・CSRや協働に

関する各種相談に対応。

- NPOの組織基盤強化（キャパシティビルディング）の個別支援  
NPOの組織基盤強化（キャパシティビルディング）のための取り組みをコンサル  
タントとして支援。（「Panasonic NPO サポート ファンド」関連で2団体を予定）
- 勉強会「キャパ研 [NPO組織基盤研究会]」 ★
  - ・ 詳細：<http://www.npo-an.com/event/archives/25/>
  - ・ 代表者や事務局長クラスのNPOのリーダーとともに、組織運営（経営）につい  
て意見交換を行い、交流と相互研鑽を図る。（4月・10月の年2回程度）
- セミナー「伝えるコツを身につけよう」
  - ・ 電通+NPO広報力向上委員会、日本NPOセンターの助成
  - ・ 広告の基本とともに、効果的な配布やリリースのしかたを学ぶ（助成決定待ち）
- ボランティアの参加・参画機会の提供  
“天神で、月イチボランティア”なる謳い文句で取り組んでいるボランティア受け  
入れプログラム「ぼらタイム」の他、外部組織によるインターンシッププログラム  
への、インターン受け入れの協力をを行い、各人の自己実現や力量形成等に貢献する。
- 「NPO・ICTどんとこいプロジェクト」
  - ・ ITスキルアップ講座
  - ・ 有用なソフトウェアの紹介（Techsoup と共催）
- 各セクターの有志による研究会活動への参画
  - ・ 「企業市民ネット九州（通称：KIQ）」  
引き続き、スキームの刷新を行う。
  - ・ 「パートナーシップ研究会（通称：ぽ～研）」  
定例勉強会の他、県外への合宿も行う。
- 講師派遣事業  
NPO、企業、行政等への各種研修・ワークショップや、参加者間の対話や相互理  
解を目的とする会合等について、依頼がある都度、当センター関係者を、講師やフ  
ァシリテーターとして派遣する。

### 3、ふかめあう

#### #当センターの問題意識

この10年強ほど、とりわけ行政において「協働」が注目されているところである。もはや市民活動団体（NPO）との協働という概念のない自治体施策はないと言っていいほど、近年、各種施策に「市民活動支援」や「連携」、「協働」、さらには「地域コミュニティ」の概念が用いられるようになってきている。他方、これらは、行財政改革の流れの中で、行政コストの効率化の一策として位置づけられている向きもあり、またその実施プロセスも、未だ必ずしも市民（NPO）との共同作業の上でのものとは言い難いところが多い。市民

(NPO)・行政とも、今一度、「NPO」や「協働」「市民参加、参画」の意義の再確認を進めながら、あるべき姿(地域のくらしのビジョンあってこそ、双方の共同作業ということ)に立ち返る機会を折々で持つ必要がある。こうした「協働」にまつわる動きを含め、日々、さまざまな事象をとらえながら、民間のNPO支援組織としての視座から、課題と解決策を掘り下げ、個々の取り組みやしくみの創出・ブラッシュアップのための研究・提言活動を積極的にすすめたい。

### ■「佐賀市協働ステップアップ事業」(受託)

佐賀市と協働。

着手より7年目となる今年度は、佐賀市(行政)の協働実態調査およびヒアリング調査を継続するとともに、佐賀市役所内でも協働に熱意や高い問題意識を有する職員からなる「佐賀市協働情熱チーム」をはじめとする、市役所庁内のモチベーション高揚のための研修や個別相談、施策全般への助言を図る。また、担当課等との連携のもと、企業を対象とした情報発信活動にも着手する。

### ■「[自治体×市民]協働対策ゼミ」

NPOと行政との協働について看過しがたいトピックがあれば、1回程度開催。

### ■「協働幻想?プロジェクト」

2010年度より、島根大学法文学部 毎熊准教授、佐賀市役所 木島氏とともにMLを立ち上げ、NPOと行政の協働の分野における憂慮される動きについて、ゆるやかに意見交換や情報共有を行っている。NPOと行政の協働の意義・課題の再整理とともに、昨今の動向に照らし、市民と行政とのあるべき関係像や協働の質を高めるための必要十分条件等を多角的に探りたい。

### ■(仮)「民間NPO支援組織の意見交換会」★

民間NPO支援組織有志での意見交換会を行い、連携アイデア等をさぐる。

## 4、つなぎあう

### #当センターの問題意識

多くの会員や寄付者を擁し、市民の共感・信頼に裏打ちされたNPOの中には、日々のネットワークや組織内の活気、また財政力等の点で優れて強みを有するところも少なくない。当センター自身もここは課題としているところであり、市民(個人、団体含め)との関係をいかに築いていくが焦点と考えている。そこで、セクターや立場を超えて、対話や交流の機会を通じた顔の見える関係づくりを図っていくと同時に、「百聞は一見に如かず」という言葉にもあるとおり、一目でNPOの活動を感じとっていただけるような方策も、他団体との連携の下、練りたい。

### ■(仮)「ふくおかNPO現場体感カフェ」★

隔月ペースで、すてきな草の根の団体を訪問し、お茶菓子を片手にじっくりお話をお聴きし、異セクター間での交流を図る会を設ける。

- 福岡版プロボノ活動推進プロジェクト “ふくおか かつぎて けいかく”  
(仮) 運営委員会を創設し、スキームの刷新を行う。  
専用WEB : <http://www.fukuoka-katsugite.net/>
  
- 「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」  
(主催：日本NPOセンター、共催：(財) 児童健全育成推進財団、  
協賛：(財) 住友生命社会福祉事業団)  
行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出するためのプロジェクト。2011 年度より新たに公募型の助成プログラムに移行し、北九州の児童館では継続して助成決定しているため、その企画・運営面での側面支援を行う。
  
- 「SAVE JAPANプロジェクト」  
各地の環境保全関連のNPOを核に、(株)損保ジャパン、特定非営利活動法人日本NPOセンターおよび各県のNPO支援センターが側面支援しながら、市民参加型のプログラムを企画・実施する。(最終年2年目)
  
- 「(仮) GreenGift」 ★  
各地の環境保全関連のNPOを核に、企業某社、特定非営利活動法人日本NPOセンターおよびいくつかのNPO支援センターが側面支援しながら、市民参加型のプログラムを企画・実施する。
  
- 「つこーちゃん？」  
企業等からの寄贈品の、NPOを対象としたコーディネーションを引き続き行う。
  
- 「雑草CUP 草の根ボウリング大会」  
異セクター交流を目的に、引き続き行う。

## 災害等に係るサポート

- 東日本大震災の被災地支援のための取り組み
  - ・ソーシャルメディアを活かした情報活動
  
  - ・NPO支援プログラムの広報PR  
「被災地をささえるNPOを、わたしたちで、ささえませんか。」もうひとつの、私たちにできること”」なる謳い文句で、被災地にかかわるNPOの資金的支援につながる募金プログラムの広報PR支援活動を継続して行う。
  
  - ・NPO支援プログラムへ寄付の仲介
  
  - ・被災3県のNPOのキャパシティビルディング支援  
2012 年度から継続中の「NPO育成・強化プロジェクト」(特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン、特定非営利活動法人日本NPOセンター、全国のNPO支援センター間の合同プロジェクト)において、古賀が実行委員



兼 集合研修講師 兼 メンターとして参画。7月までの予定。

そ の 他

- ITによる各種情報活動
  - ・ホームページ [NPO庵]
  - ・ブログ [NPO庵ノ嘶]
  - ・メルマガ [NPO庵だより]
  - ・twitter (@fnpoc)
  - ・Facebook (<http://www.facebook.com/FukuokaNPOCenter>)
  
- ニュースレター [みみたぶ] 発行

【参 考】 委員・役員等

古賀桃子 担当分 / 新規就任予定 (5/30 時点)

- ・ NPO関係 「NPO/NGO に関する税法人制度改革連絡会」  
後継組織のあり方検討ワーキングチーム